



新型コロナウイルスの感染が再拡大しています。
ハッピーテラスでは、引き続き感染対策に十分に努めて参ります。

1 お知らせ

* イベント告知

放課後等デイサービス体験イベント	11月26日(土) 10:00~
年中向け保護者懇談会(就学に向けた悩み事相談)	11月26日(土) 16:00~
年長向け保護者交流会(内容未定)	12月3日(土) 16:00~

を予定しております。改めて、ご案内を対象の保護者様にはお配りします。

2 職員からの推薦図書

題名 「きょうりゅうオーディション」
著者名 たしろ ちさと
参考価格 1430円 (Amazon)
推薦者 隈元 優理子 (与野本町)



恐竜のお芝居に出るために、
恐竜たちが自分の特徴を生かしてオーディションに参加します。
版画やコラージュを使ったすこし不思議で温かみのある絵にテンポよく恐竜の特技が披露されていきます。いったいだれが選ばれるのでしょうか？

3 10月の追加ご利用可能日程

各教室において、追加でご利用される場合にご参考ください。
(記号：○・・・空きがございます △・・・若干名の空きがございます)

日付	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
曜日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
10:00						△						△			
11:15						△	△	○				△		△	○
13:00						△	△								
15:00					○										
16:15															

日付	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜日	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
10:00					○											
11:15			△		△	△				△		△	△	△		
13:00			△		△					○		△	△			
15:00																
16:15					△											

集団コースの空き状況(通期での参加をお願いしております)

月曜15:00 ソーシャルスキルコース 若干名空いております
水曜13:00 幼稚園準備コース 若干名空いております

4 おうちでキッズコーディネーション！

～コロコロジャンプ～

難易度★★★★☆

- ねらい
- ・すばやく正しく反応する
 - ・体をタイミングよくスムーズに動かす
 - ・周りや人のものと、自分の位置の関係をつかむ
- 準備物
- ・ラップの芯をつなげたり、新聞紙を丸めたりして作った、50cm程度の長さの筒状のものを3～5本用意しておく
- 進め方
- ① 保護者と子どもが正対して立ち、保護者は子どもの足元をめがけて筒を転がします。
 - ② 子どもは筒を踏まないようにジャンプをして、筒をよけます。出来るだけその場でジャンプできるように、立つ場所に目印を貼ってあげるとよいでしょう。
 - ③ まずは3～5本程度のクリアを目指し、慣れてきたらスピードを上げたり、転がすテンポ（間隔）をランダムにすると難易度が上がります。

☆ 幼児の場合は、連続で飛んでもらうのは難しいので、1回飛んでもらうごとに、転がってくる棒が意識できたタイミングで、次の棒を転がしてあげましょう。

動画のQRコードはこちら！

YouTubeに参考動画をあげています。ぜひご活用ください。

本トレーニング動画は、YouTubeにてハッピーテラスのご利用者様に対し、限定公開されたものです。ハッピーテラスのご利用者様以外の方にURLをお知らせされないようお願いいたします。



5 療育コラム 「アサーティブな関り おさらい」

今回は、少し前に皆様にご協力いただいた各教室の保護者様アンケートのHappy通信の項目で【定期的にアサーションについて、振り返る機会があると良いと思いました】というコメントを受けまして、アサーティブな関りについて振り返る機会とさせていただければと思います。改めて、アンケートにコメントを下された保護者の皆様、本当にありがとうございます。どのような内容を皆様がお求めなのか示していただけると、非常に励みになります。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございます。

それでは、本題に入りたいと思います。以前もお話させていただいた通り、アサーティブな関りとは、自分だけでなく相手も大切にすることを指します。ここで言う、【自分を大切にすること】関わりとは、他者に意見を伝える際、相手に遠慮をせずに、伝えたい事を全て伝える、という意味合いになります。一方の【相手も大切にすること】関りとは、他者の意見に興味を持って聞き、尊重する、という意味合いとなります。つまり、双方が相手に伝えたい事を全て伝え合った上で、自分の意見も相手の意見も尊重する事が、アサーティブな関り、というわけです。

このように文章にしてみると、理屈としては理解できるけれども、果たして本当にそんな事ができるのか、不可能ではないか、と感じられる方も多々あると思います。特に日本では、相手に対して遠慮することを重んじる文化があります。これによって、自分の伝えたい事を全て率直に他者に伝える、という事自体が暗黙の了解で良しとされないため、アサーティブな関りの難しさ、大きく関係しているように思います。しかし【遠慮をする】という事は、アサーティブな関りの観点から【自分を大切にしていない】という事になります。片側の人が遠慮をする事で、不満が蓄積され、時には【（私が）譲ってあげた】という想いに繋がる事もあるかもしれません。

では、両方の人がお互いに遠慮をし合うと、どのような事になるのでしょうか？
こうなると、今度は、お互いに伝えたい事の一部しか伝える事ができず、最悪は、話し合いや関わりそのものに意味がなくなってしまうことすらあります。
ともあれ、先述の通り、アサーションな関りは、意識して取り組んでいかないと、なかなか難しい関りと言えます。そこで、最後に、以下に取り組んでいく際に意識していくと良いポイントをご紹介します。

①相手の考えを最後まで聞く

→自分とは全く違う見解であっても、否定や反論をせずに最後まで聞く事で、相手が率直に意見を伝える事ができるだけでなく、こちらが率直に意見を伝える事の促進にも繋がっていく可能性があります。

②相手の言い分を聞いた上で、自分の考えを率直に伝える

→先に聞いた相手の意見を踏まえながら、自分はどのような考えであったかを率直に伝えます。この際、自身の正当性を説くのではなく、あくまで自分はこう感じた、という話し方だと相手が受け取りやすいように感じます。また、先に聞いた相手の考えを受けて、新たに気付いたことなどを交えて話せると、より話し合いが促進されるように感じます。

③落としどころを話し合う

→お互いに率直な考えを示した上で、お互いが納得できる結論を話し合います。この際の落としどころは決して片側にだけ利益が出るのではなく、双方に同程度利益があり、また、同程度に不利益がある内容ですと、お互いに納得しやすいかと思われます。

いかがでしたでしょうか。

以前もご説明した通り、保護者や先生からの注意や叱責等は、一般的に、それを受ける側に対して、一方的に相手を従わせるような性質があるため、受け入れ難いものですが、アサーティブな関りのように、お互いの考えを尊重しながら、しっかりと意見を伝え合う事ができると、不思議と折衷案が上手く相談できたという経験は、私自身も記憶があります。日々の生活の中で、毎回は難しいですが、部分的にでも取り組んで